

I 令和5年度 事業報告書

第1 事業の概要

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の流行も概ね終息し、渡航を伴う青少年交流事業の再開や各種イベントの入場制限を撤廃する等、徐々に流行前の通常の事業を行えるようになった年度であった。

また、令和4年3月に始まったウクライナ避難民への支援を引き続き実施したほか、外国人市民と日本人市民が互いの文化の違いを認め合いながら共存する多文化共生社会の実現に向けて、外国人市民を含む全ての市民や地域を対象に、自主事業として多文化理解推進、外国人市民支援、市民活動支援、情報収集・提供及び調査を実施し、受託事業として国際交流プラザ運営業務、地域日本語教育推進、ウクライナ避難民への日本語学習支援、LINEを活用した外国人相談等業務を実施した。

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

多文化理解推進事業では、青少年交流事業としてアメリカ・ヒューストン市からの受入及びカナダ・ノースバンクーバー市とのオンラインによる交流を実施した。また、新規にハロウィンやお花見をテーマとした国際交流パーティーを開催したほか、日本語交流会、語学講座等を実施した。

(2) 外国人市民支援事業

外国人市民支援事業では、日本語学習支援をマンツーマン日本語交流、各種日本語クラス、日本語学習アドバイザー、関係機関とのつながり強化、地域日本語教室への運営支援等を千葉市から受託した「地域日本語教育推進事業」の一環として実施した。また、生活相談、法律相談、留学生交流員事業を実施したほか、災害時外国人支援として、災害時の対処方法や避難情報等をホームページやフェイスブックを通じて発信するとともに、外国人市民と共に「九都県市合同防災訓練」に参加する等の事業を実施した。

(3) 市民活動支援事業

市民活動支援事業では、ボランティアの登録・コーディネートを行うとともに、ボランティア向けの日本語交流つなぎ講座を実施したほか、国際交流・国際協力活動をしているボランティア団体への助成、「ちば市国際ふれあいフェスティバル」の開催支援、ボランティアにより運営されている市内の日本語教室等の活動状況を調査し、日本語を学ぶ意欲のある外国人市民に提供する事業等を実施したほか、行政手続きや医療、教育、健康、福祉、子育て等の分野において、外国人市民との円滑な意思疎通や正確な情報伝達の支援をするため、コミュニティ通訳・翻訳サポーターを実施した。

(4) 情報収集・提供及び調査

情報収集・提供及び調査では、ホームページやフェイスブック等を活用し、千葉市や千葉県、国から出された各種の情報を多言語で迅速に情報発信した。また、協会情報誌「ふれあい」や、『外国人のための「ちば市政だより」』の発行等を行った。

2 受託事業

(1) 千葉市から委託を受けた事業

千葉市からの受託事業として、「国際交流プラザ運営業務」、「地域日本語教育推進事業」、「ウクライナ避難民への日本語学習支援事業」のほか、新規に「LINEを活用した外国人相談等業務」を実施した。

第2 事業内容

1 自主事業

(1) 多文化理解推進事業

ア 交流サロン

日本人市民と外国人市民が気軽にふれあい、交流し、情報交換や国際化の理解を深めることができる場を設け、多文化理解の推進を図った。

イベント名等	開催日	内 容 会 場	参加者 () 内外国人
七夕の文化紹介及び飾り付け	6月23日～ 7月8日	日本の伝統である七夕を外国人の利用者に紹介し、日本人利用者と一緒に飾り付けをして交流を図った。 国際交流プラザ	46人 (短冊数)
日本語交流会	10月21日	国際交流プラザや千葉市内の日本語教室等で日本語を学んでいる外国にルーツをもつ11人が日本語によるスピーチを行ったほか、ベトナム人留学生が、自国のダンスを披露した。 国際交流プラザ	90人 (31人)
国際交流ハロウィンパーティー	10月27日	日本人と外国人が気軽に交流できる場の提供、オープンな場所での国際交流（交流会）を目的として、ハロウィンをテーマに、千葉市役所との共催で開催した。 市民ヴォイド（市役所1階）	300人 (60人)
国際理解講座「外国の料理に挑戦！～ウクライナの家庭料理を作ろう」	1月22日	千葉市で受け入れたウクライナ避難民を講師として、参加者とウクライナ料理を作るとともに、食事の時間にウクライナ文化を紹介する講座を都賀公民館との共催で開催した。 都賀公民館	13人 (2人)
国際交流お花見パーティー	3月22日	日本人と外国人が気軽に交流できる場の提供、オープンな場所での国際交流（交流会）を目的として、お花見をテーマに、千葉市役所との共催で開催した。 市民ヴォイド（市役所1階）	200人 (40人)

イ 青少年交流（市補助）

姉妹・友好都市における市民レベルでの交流を図り、次代を担う青少年がお互いの国の文化や歴史、生活等について理解を深めるため、毎年度、夏休み期間を利用して派遣及び受入を実施している。

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症概ね終息したことから、アメリカ・ヒューストン市から中学生の派遣生を5年ぶりに受け入れることとなった。

カナダ・ノースバンクーバー市との交流については、同市と協議した結果、渡航を伴う交流の代わりに、オンラインによる交流を実施した。

姉妹・友好都市	期間・実施日・内容	人数
アメリカ ヒューストン市 (37回目)	【受入】6月5日～15日 市長・議長・教育長表敬訪問、市立稲毛高等学校附属中学校における授業体験、千葉神社、市郷土博物館の見学及び大鎧等の着付け体験 等	【受入人数】 中学生4人 引率者2人
カナダ ノース バンクーバー市	【実施日】8月6日 カナダ・ノースバンクーバー市で毎年開催されている日系カナダ人文化の祭典「パウエル祭り」にオンラインで参加し、両市の過年度派遣引率者及び派遣生達が、両市で同時に千葉おどりを踊り、また千葉市に関する質疑応答など、新しい形での交流を実施し、長きにわたり青少年交流で培ってきた絆と千葉市について広く紹介することができた。	【参加者】 106人 (90人) () 内外国人

ウ 語学講座

国際交流ボランティア活動支援及び育成を図り多文化理解を推進するため、ボランティアや賛助会員を対象に語学サロンを実施した。

講座名	期間	時間等	講師	受講者
初級英語サロン	6月9日～ 7月7日	2時間× 5日	【市職員】 ケイティ セクストン	14人
世界一周体験 (ジャマイカ、中国、韓国、 メキシコ、ベトナム)	10月7日～ 11月11日	2時間× 5日	【協会職員】 カー 宏美 (英語) 朱 思穎 (中国語) 金 銀貞 (韓国語) 川上 隆義 (スペイン語) 須本 明心 (ベトナム語) 【留学生交流員】 中国語	8人
初級中国語サロン	10月11日～ 11月15日	2時間× 5日	【協会職員】 朱 思穎	6人

エ 多文化共生推進

(ア) 各種イベント等

外国人市民と日本人市民の相互理解の促進による多文化共生を実現し、お互いに住みやすい社会を築いていくために行政、学校、ボランティア、自治会等の地域との連携を図り事業を実施したほか、千葉市や他の関係団体が開催する各種イベントに参加し、多文化共生推進にかかる事業の説明や活動紹介、協会のボランティア制度やその重要性に対する理解促進を図った。また、関係団体等からの調査への協力、会議メンバーとしての参加等により多文化共生社会実現に向けた取組みを進めた。

<多文化共生の啓発>

名称	開催日	場所	内容
立教大学 教授の調査への協力	5月17日	オンライン	ウクライナ避難民支援に対する調査に協力した。
淑徳大学 インタビュー対応	6月14日 ～15日	国際交流プラザ	淑徳大学看護栄養学部の学生8人の「地域で暮らす人々との共生」をテーマとした研修にインタビュー対応を行った。
千葉市立稲毛高校・附属中学校・稲毛国際中等教育学校 学校評議員会	6月28日 3月5日	千葉市立稲毛高校・附属中学校・稲毛国際中等教育学校	学校評議員として学校評議員会に出席し、意見交換等を行った。
総合的な探求の時間におけるフィールドワークへの協力	9月28日	国際交流プラザ	千葉市立稲毛高校の生徒5人からのインタビュー等に対応した。
東京外国語大学 学生のアンケート調査への協力	10月18日	オンライン	全国の国際交流協会における「やさしい日本語」の活用状況に対する調査に協力した。
ウクライナ支援にかかる講演会	2月6日	佐倉市 レインボープラザ	(公財) 佐倉国際交流基金からの依頼により「ウクライナ支援の現状と課題」をテーマに講演を行った。
やさしい日本語ガイドンス	2月14日	千葉市役所	千葉市業務改革推進課が施設の指定管理者等を対象に実施した研修会で、やさしい日本語の活用を啓発する講義を行った。

<千葉県やその他団体との連携>

名 称	開催日	場 所	内 容
「やさしい日本語変換A I 開発への協力	4月	オンライン等	千葉県からの依頼により（株）NTTドコモが開発している「一般的な日本語」から「やさしい日本語」に自動変換を行う「やさしい日本語変換A I」の実証実験に協力し、変換結果の評価等を行った。
千葉県・大学等共同研究事業に対する協力	4月～2月	国際交流プラザ オンライン	千葉県国際交流課と神田外語大学が共同で行った「千葉県における外国人親子の生活意識および教育問題に関する研究～日本人学生・留学生による学習支援ボランティア体制等を通じた多文化共生のまちづくりに向けて～」に対して、外国出身の職員へのインタビュー協力や日本語学習に係る情報提供等の協力を行った。
ちば多文化共生地域円卓会議	6月3日 11月12日	国際交流プラザ	「NPO法人多文化フリースクールちば」が「中学校から高校卒業までの外国にルーツをもつ生徒たちの進路を考える」をテーマとして開催した会議に出席し、意見交換等を行った。
千草台地域ケア会議	6月27日	千草台団地集会場	「千葉県あんしんケアセンター天台」が主催した会議に出席し、外国人市民との地域共生について意見交換等を行った。
多文化共生社会づくり連絡協議会	7月25日	県教育会館	千葉県国際課が千葉県における多文化共生社会の推進を図るために設置している協議会に出席し、意見交換等を行った。
外国人関係機関との懇談会	7月26日	オンライン	千葉県弁護士会が主催した懇談会に出席し、外国人の医療問題に対する事例研究や意見交換を行った。
市営住宅入居説明会	7月27日 ほか 計6回	市住宅供給公社	市営住宅入居説明会での中国語通訳及び生活のルールについてのアドバイスを行った。
千葉県災害時多言語支援センター運営訓練	10月19日	市文化センター	千葉県及び（公財）ちば国際コンベンションビューローが主催した「千葉県災害時多言語支援センター運営訓練」に参加し、被災時における関係機関との連携を深めた。
大学生記者・新聞製作体験プログラムへの協力	11月2日 （発行日）	国際交流プラザ	東京情報大学の学生3人が千葉日報上で「多文化共生社会の実現へ」をテーマに情報発信するにあたっての調査に協力した。
房総多文化ネットワーク定例会	12月3日	千葉大学	「房総多文化ネットワーク」が主催した定例会に出席し、千葉県における地域日本語教育の総合的な体制づくり推進事業についての講義を行った。
外国人相談事業に対する調査への協力	1月12日	国際交流プラザ	独立行政法人国際協力機構（JICA）からの外国人相談事業に対する体制づくりや相談内容に関する調査に協力した。
関東地域国際化協会連絡協議会	1月30日	オンライン	関東・甲信地域の地域国際化協会が相互に協力、連携して、地域における国際交流及び国際協力の推進を図ることを目的とした会合に出席し、意見交換等を行った。 （幹事：栃木県国際交流協会）

外国人相談担当者意見交換会	2月15日	オンライン	(公財)ちば国際コンベンションビューローが主催した会合に出席し、外国人相談担当者が業務に必要な知識を学ぶとともに、意見交換を行った。
8市国際交流協会等連絡協議会	2月24日	プラザマーレ(浦安市)	千葉県内の国際交流協会が会し、団体運営や事業実施についての情報交換や意見交換を行った。
NPO法人多文化フリースクールちば第10期卒業式	3月17日	中央コミュニティセンター	日本の高校への進学を支援する団体の卒業式に来賓として出席し、外国人の高校進学の現状についての情報収集等を行った。
外国人市民懇談会	3月22日	市役所	千葉市国際交流課、収集業務課と共に、「千葉市のごみの出し方、分別の仕方について考えよう」をテーマに、外国人市民から意見を聴取やごみ出しルールへの理解促進を図った。

<協会事業のPR・ボランティアの獲得>

名称	開催日	場所	内容
春からはじめるボランティア!身近な5施設活用術	5月27日	市生涯学習センター	千葉市生涯学習センターがボランティア活動に関心を持つ市民向けに開催したイベントに講師として参加して協会の活動等の説明を行い、ボランティアの獲得に努めた。
生涯学習ボランティアフェア2023	11月18日 ～ 11月26日	市生涯学習センター	千葉市生涯学習センターが市民のボランティア活動や生涯学習への関心を広めることを目的に開催したイベントに協会のボランティア制度や活動についてのパネル展示等を行った。
ちばし地域づくり大学校講座「今後の活動に向けたヒント」	12月16日 12月22日 12月26日	オンライン 幕張公民館 市役所	ちばし地域づくり大学校が地域活動を始めた市民向けに開催した講座に講師として参加して協会の活動等の説明を行い、ボランティアの獲得に努めた。

<研修・セミナー等出席>

名称	開催日	場所	内容
配偶者暴力関連スーパービジョン	5月18日 ほか 計5回	市役所	千葉市こども家庭支援課が主催したDV被害者からの相談に適切に対応し効果的な支援が行えるよう実施された会合に参加し、対応について学んだ。
外国人相談窓口相談員研修会	6月27日 ほか 計5回	オンライン	東京出入国管理局が主催した相談員向けの研修会に参加し資質の向上に努めた。
ウクライナ避難民支援連携シンポジウム	9月19日	笹川平和財団ビル(東京都港区)	日本財団がウクライナ避難民との共生を考えるために開催したシンポジウムに参加し、今後の事業の一助とした。

(イ) 職場体験等の受入ほか

児童、生徒に対し、就業体験の場や国際化に関する情報提供を行い、体験を通じて国際交流・国際協力への意識を醸成することにより多文化共生社会実現に向けての理解促進を図った。

対象	期間等	内容
小学生 千葉市雇用推進課による「千葉市夏休みおしごと感動体験ワクワクワークデー2023」に参加した小学生2人(小5・6)	8月22日	一般的な日本語をやさしい日本語に翻訳する作業の実践及び外国出身の協会職員との交流

中学生	市立葛城中学校の生徒3人(中2)	6月20日 ～ 6月22日	日本語クラスの見学、一般的な日本語をやさしい日本語に翻訳する作業の実践、協会職員へのインタビュー、職場体験で学んだことの発表
大学生	金沢大学、千葉商科大学 3年生各1人 (千葉市におけるインターンシップの一環として実施)	8月24日 27日	九都県市合同防災訓の補助等

(ウ) 市及び公的機関からの文書等翻訳

令和4年度に引き続き、戦火を逃れて千葉市に転入してきたウクライナ避難民支援のためウクライナ語翻訳を行った。

また、従前に引き続き、千葉市からの依頼に基づき、行政サービスに係る文書等の翻訳を、協会職員が幅広く対応した。

翻訳言語	翻訳件数	主な翻訳内容
英語	10件	医療政策課 接種対象者確認票 収集業務課 ごみの捨て方動画、ごみの分別・排出ルール
中国語	27件	東部市税事務所市民税課 確定申告資料 幼保運営課 防災気象情報等に応じた保育園等の対応文書
韓国語	22件	健康保険課 国民健康保険未納通知、口座振替資料
スペイン語	12件	防災対策課 指定緊急避難場所・指定避難所一覧 市民総合窓口課 個人番号カード利用案内
ベトナム語	18件	教育委員会学事課 就学援助制度のお知らせ 高齢障害支援課 身体障害者手帳 国際交流課 生活ガイドブック 他
ウクライナ語	9件	ウクライナ避難民支援に係る案内文、国民健康保険料催告文書 他
合計	98件	

(2) 外国人市民支援事業

ア 日本語学習支援(千葉市委託事業にて実施)

(ア) 1対1日本語活動(ペアリング:110組、活動:134組 835回活動)

外国人市民の社会参加と日本語学習の促進を目指し、あわせて、日本人市民の多文化理解の促進を図るために、日本語学習支援ボランティアを日本語交流員、外国人学習者を外国人参加者とし、日本語の習得だけでなく、日本語を使ってコミュニケーションする力が向上するよう、国際交流プラザでの対話形式もしくはオンラインを利用した日本語活動を行った。

(イ) 各種日本語クラス

名称	開催日	参加者	回数等	講師(敬称略)
初級クラス1	5月15日～9月21日	18人	2時間×30回	天野伸子、田中久美、 中村香理、山田美穂
	10月3日～2月6日	17人	2時間×30回	
初級クラス2	5月16日～9月22日	18人	2時間×30回	天野伸子、田中久美、 中村香理、萬浪絵理、 山田美穂
	10月2日～2月8日	11人	2時間×30回	
グループクラス	5月17日～8月2日	31人	2時間×10回	天野伸子、大隅紀子、 片岡由里子、田中久 美、山田美穂
	5月27日～7月29日	36人	2時間×10回	
	8月19日～11月4日	41人	2時間×10回	
	8月23日～10月25日	38人	2時間×10回	
	11月15日～2月7日	37人	2時間×10回	
	11月25日～2月17日	36人	2時間×10回	

にほんごで はなすかい	5月19日～2月28日	外国人32人、日本人11人	30回	ファシリテーター 天野伸子、杉崎聖子、 田中久美、中村香理、 山田美穂
----------------	-------------	---------------	-----	--

(ウ) オンライン学習プログラム作成

「生活」に関するオンライン日本語教育プログラムを開発した。提供開始は令和6年を予定。

(エ) やさしい日本語研修

外国人等の日本語習得を促進し、相互理解のための資質を養うため、外国人住民や職員が多い学校や企業等向けに「やさしい日本語」「多文化理解」研修を実施した。

開催日	対象・会場	人数	講師（敬称略）
7月11日	保育所職員 千葉市立磯辺保育所	10人	田中久美
9月6日	学校教職員 千葉市立真砂中学校かがやき分校	15人	中村香理
9月28日	学校教職員 千葉市立花島小学校	19人	中村香理
10月14日	一般市民 オンライン	14人	中村香理
2月28日	企業関係者、一般市民 オンライン	10人	萬浪絵理

(オ) 地域日本語教室への運営支援

市内日本語教室・支援団体の内、研修を希望した3教室に対し出張研修を実施した。

開催日	教室名	会場	人数	講師（敬称略）
11月9日	国際交流せいかつ日本語みはま会	美浜保健福祉センター	15人	千葉モードビジネス専門学校 中澤美水
12月9日	千葉市JSL児童生徒支援の会	国際交流プラザ	18人	萬浪絵理
12月9日	美浜こどもにほんご教室	美浜保健福祉センター	10人	植草短期大学 相磯友子

(カ) 多文化ウェルカム団体紹介

「日本語交流つなげて講座」や「やさしい日本語研修」の修了者が在籍していることで外国人市民が参加しやすい環境が整っているサークルや地域団体を6団体、紹介した。

(キ) 企業支援

外国人従業員に対する日本語学習方法についてのアドバイスや協会の日本語クラス等の情報提供等することにより支援を行った。

(ク) 情報交換会・意見交換会の実施

開催日	名称	テーマ	参加団体
1月24日	日本語学習支援関係者フォーラム	生活に役立つ日本語支援ってどんなこと？ ゲスト：日本語サービス YOU&I 関崎友愛	16人

(ケ) 日本語学習アドバイジング

日本語学習希望者の相談に対応し、相談者の希望やライフステージに鑑み、戦略的に日本語を身につけられるよう、学習方法や学習素材、学習機会等をアドバイスした。

(コ) 日本語教育啓発のための動画作成

日本語使用に不自由を感じている外国人等の学習意欲を促進するため、日本語学習を経験した人のインタビュー動画を作成し、ホームページで公開した。

イ 外国人生活相談

多文化共生コンシェルジュや外国人生活相談員を配置し、言語や習慣の違いなどから生じる日常生活の悩み等について、外国人市民並びに日本人市民からの相談を窓口や電話等で対応したほか、各区役所・保健福祉センターに配置されたタブレット端末を活用してオンラインによる相談を行った。

また、新規に令和5年9月からLINEを活用した外国人相談を開始した。

そのほか、ロシアの軍事侵攻から逃れるために来日したウクライナ避難民を千葉市でも多数受け入れたことから、就労や受診時の通訳等、生活に必要な各種支援を行った。

言語	方法	件数	人数
英語、中国語、韓国語、スペイン語、ベトナム語、ウクライナ語等	協会窓口、電話、Eメール、LINE等	1,736件	1,559人

ウ 外国人法律相談

外国人市民が直面する法律的問題を解決するため千葉県弁護士会の協力により無料法律相談を実施した。

回数：19回開催(うち平日昼5回、夜間5回、土曜日9回)

件数：35件

エ 外国人留学生交流員(市補助)

市内大学に通う本市在住の私費留学生の学習支援及び、多文化共生社会の実現に寄与する留学生社会のキーパーソンの育成を目的に事業を実施し、1人あたり奨学金60,000円を交付した。

在籍大学	出身地	在籍大学	出身地
神田外語大学	中国	千葉大学	中国
敬愛大学	ベトナム	千葉大学	バングラデシュ

オ 災害時外国人市民支援

(ア) 各種防災訓練への参加及び外国人のための防災訓練等

名称	開催日	場所	参加者等() 内外国人
九都縣市合同防災訓練	8月27日	千葉市役所	42人(35人)
千葉市シェイクアウト訓練	9月1日	国際交流プラザ	28人(15人)
千葉県災害時多言語支援センター運営訓練	10月19日	市文化センター	協会職員

(イ) 避難行動要支援者名簿掲載申請手続き及び個人情報の取扱いに関する協定締結(平成26年6月30日)に基づく事業

(ウ) 千葉市災害時外国人支援センターの設置・運営に関する協定締結(平成26年8月28日)に基づく事業

台風13号の接近による大雨予報にともない千葉市災害時外国人支援センターを設置し、大雨警報等に関する情報発信を協会ホームページ・Facebook・LINEで行った。

また、2月後半から千葉県を中心に起こった群発地震に対する注意喚起をFacebook・LINEで行った。

(3) 市民活動支援事業

ア ボランティアコーディネーター

市民が個々に有する能力を有効に活用し、地域に根ざした国際交流・国際協力事業の

推進を図るため、ボランティアの登録・コーディネートを行った

内容	登録 件数	斡旋 依頼 件数	活動 延べ 人数	主な実績
通訳	842	1	1	韓国昌寧郡議会議員のハーモニープラザ訪問に伴う 通訳 言語：韓国語
翻訳		4	4	姉妹都市モントルー市からの文書翻訳 言語：フランス語
災害時語学	278	1	1	九都県市合同防災訓練 言語：やさしい日本語
ホーム ステイ	115	2	3	留学生短期サマーキャンプ（2泊3日） 市内高校留学生ドイツ人ホームステイ（10か月）
ホーム ビジット	181	0	0	—
文化紹介	253	1	2	都賀公民館共催「ウクライナの家庭料理講座」 ウクライナ人講師及びアシスタント
日本語学習 支援	600	110	835	アメリカ、インドネシア、ウクライナ、韓国、タイ、 台湾、中国、フィリピン、ブラジル、ベトナム、マダ ガスカル、マレーシア、ミャンマー
国際交流 支援	552	1	3	日本語交流会
合 計	2,821	120	849	

イ コミュニティ通訳・翻訳サポーター（市補助）

高い言語能力等の資質を備えた通訳・翻訳ボランティアを「コミュニティ通訳・翻訳サポーター」として認定し、行政手続きや医療、教育、健康、福祉、子育て等の分野において、外国人市民との円滑な意思疎通や正確な情報伝達の支援を行った。

サポーターの認定にあたっては、対人援助適性、通訳技術、守秘義務、中立性などの行動規範等を学ぶ講座の受講を必須としたほか、医療現場や教育現場にて適切な支援をするための知識習得のための各種講座を開催した。

(ア) コミュニティ通訳・翻訳サポーター認定登録者

新たにヒンディー語とスウェーデン語が増え、対応できる言語の幅が広がった。また、認定者の36.7%が外国語母語話者であり、更に少数言語対応ができるようになった。また、認定者には看護師等もおり、登録者の専門性がより高められた。

令和5年度認定者数 49人（内外国出身者 18人）

認定者総計 175人（内外国出身者 48人）

<通訳> 49件 登録言語数 13言語（認定者総計 176件 登録言語数 22言語）

<翻訳> 53件 登録言語数 13言語（認定者総計 182件 登録言語数 21言語）

(イ) 養成講座・分野別講座の実施（いずれもオンラインで実施）

名 称	開催日	内容・講師（敬称略）
コミュニティ通訳・翻訳サポーター 養成講座	11月11日 11月18日	概論、行動規範、通訳技術基礎等 M I C かながわ 通訳スタッフ 田中 圭 氏（英語）、清水 秋恵（中国語）
コミュニティ通訳・翻訳サポーター 分野別講座（医療 英語圏・アジア圏）	1月20日	医療通訳の基本、通訳技術、通訳事例等 M I C かながわ 通訳スタッフ 松尾 圭子（英語）

コミュニティ通訳・翻訳サポーター 分野別講座（医療 中国語圏）	1月27日	中国語医療通訳事例グループワーク 等 M I Cかながわ 通訳スタッフ 佐藤 ペティー（中国語）
コミュニティ通訳・翻訳サポーター 分野別講座（学校内における通訳）	2月3日	通訳の役割、学校特有の表現 等 M I Cかながわ 通訳スタッフ 赤澤 千佳子（ポルトガル語）

(ウ)活動実績

<通訳>

分野	言語	活動 件数	内容
医療	英語、ロシア語、中国語、タガログ語、スペイン語、ミャンマー語、ポルトガル語、ウクライナ語	101	妊婦健診、歯科検診、消化器検査（内視鏡等）、各科受診（耳鼻咽喉科、小児科、整形外科等）、健康診断（小学校入学時、企業検診等）他
教育	中国語、ロシア語、ペルシヤ語、英語、モンゴル語、スペイン語、タガログ語、ポルトガル語	42	市内各小学校・中学校・高等学校での入学説明会、三者面談、進路相談、公立夜間中学校ガイダンス・施設見学 他
各種 相談	英語、スペイン語、タガログ語、中国語、ロシア語、シンハラ語、ベトナム語、ネパール語	31	法律相談、住まい相談、警察届け出、労働相談
子育て	英語、中国語、ベトナム語、ネパール語、ロシア語	26	入園手続き、説明会・懇談会、発達相談、各種支援制度への申し込み、手続き支援 他
健康 福祉	英語、タガログ語、中国語、スペイン語、ドイツ語、ロシア語	25	療育相談、家計相談、高齢障害支援 他
行政	中国語、タガログ語、英語、ポルトガル語	23	児童相談所、市民総合窓口手続き（国民健康保険等）、年金事務所手続き 他
税金	英語	3	市税相談、確定申告手続き 他
自治会・ 地域活動	中国語	2	自治会ゴミ出しルール周知 他
合 計		253	

< 翻訳 >

分野	言語	活動件数	内容
行政	中国語、タガログ語、英語、ネパール語	20	児童相談所資料、健康保険料未納通知 他
子育て	英語、中国語、ウクライナ語	4	児童手当申請に係る資料、入園説明会資料、保護者宛お便り 他
各種相談	スペイン語、タイ語、タガログ語、ネパール語	4	家賃に関する資料
健康福祉	英語、タガログ語、中国語	3	高齢者実態調査票、生活自立・仕事相談センター家計改善相談資料 他
医療	ベトナム語	2	産婦人科（手術説明書・同意書等）
教育	ペルシャ語	1	公立夜間中学校資料
自治会・地域活動	中国語	1	自治会ゴミ出しルール資料
合計		35	

ウ 国際交流ボランティア・リーダー会議

(ア) 通訳ボランティア・リーダー会議

自主学習グループのリーダー等による活動報告や課題の共有を行ったほか、通訳需要が最も多い医療分野について、英語に加えて、新たに中国語医療通訳養成講座を開催し、通訳ボランティア育成を図った。

< リーダー会議 >

開催日時	参加者・内容
6月17日	第1回 通訳ボランティアグループ・リーダー会議 ・出席者：14人（11グループ代表等） ・内容：(1) 活動報告、意見交換 (2) コミュニティ通訳・翻訳サポーター実績報告、制度周知 (3) リーダー会議年間スケジュール
3月23日	第2回 通訳ボランティアグループ・リーダー会議 ・出席者：8人（7グループ代表等） ・内容：(1) 活動報告、課題検討 (2) リーダー会議次年度スケジュール

< 医療通訳養成講座 >

開催日時	場所・講師（敬称略）等	参加者・内容
4月15日 ～12月16日 第3土曜日	オンライン 講師 園田 真一 アドバイザー 現役医師 大谷 俊介	英語医療通訳養成講座（全9回） ・受講者：32名 ・内容：呼吸器科、泌尿器科、心療内科、小児科、歯科、皮膚科、産婦人科、通訳事例発表
4月15日 ～12月16日 第2・第4 火曜日	国際交流プラザ 講師 協会職員 律 津	中国語医療通訳養成講座（全12回） ・受講者：11名 ・内容：受付、入院手続き、内視鏡検査、薬局、整形外科（骨折）、糖尿病、乳房結節検査、CT検査、健康診断、歯髄炎治療、小児科（水疱瘡治療）

(イ) 自主学習グループへの通訳ボランティア活動及び勉強会への支援

自主学習グループとして活動を開始し、現在は下記3分野における独自の活動を展開している13団体について、協会は多文化共生に資する市民活動を支援してきた。

協会は、これら活動を側面・後方的に支援するための医療通訳養成講座開催など、各団体が自主活動を円滑に実施できるよう各種アドバイス、情報提供、広報支援、専門機関との連携等々、運営面に対してコーディネートをを行い、市民ボランティア団体の育成・活動の支援を実施し、多文化共生の推進を図った。

(活動分野)

- ・医療通訳勉強会を含む外国人市民等への通訳支援活動
- ・異文化理解活動
- ・社会福祉支援活動

エ ボランティア研修

日本語交流つなぎて講座

外国人市民との交流や日本語学習支援に役立つ知識とスキルとして、多文化共生と日本語交流促進、「やさしい日本語」、「聴く」と「待つ」等を学ぶ講座を実施した。

また、活動の場や学習教材についても取り入れ、修了後の活動につながるような内容とした。

開催日	参加者	回数等	講師（敬称略）
7月5日～8月2日	20人	2時間×5回	神田外語大学 徳永あかね 萬浪絵理 田中久美
11月4日～12月2日	23人		

日本語交流員フォローアップ講座

活動している日本語交流員を対象に、「実際に活動する際のヒント」「活動のふりかえり」等を通して活動に関する相談やアドバイスをを行った。

開催日	テーマ	参加者	講師（敬称略）
6月10日	「伝えたいことを正確に伝え合う方法」	6人	萬浪絵理
9月30日	教材「わたしを伝える日本語」の使い方	13人	田中久美
2月3日	1対1活動における素材の使い方・対話の進め方	13人	萬浪絵理

日本語交流員説明会

1対1活動や日本語クラスの特徴や活動方法を理解した上で活動に参加してもらうため説明会を開催した。

開催日	参加者
4月22日	15人
8月2日	19人
12月2日	23人

オ 国際交流・国際協力団体活動助成（市補助）

市内のボランティア団体等による在住外国人支援活動・国際交流・国際協力の促進を図るため、事業に要する経費の一部を助成し、在住外国人への日本語学習支援に関する活動を優先的に助成した。

	団体名	事業名	助成額
1	美浜こどもにほんご教室	美浜こどもにほんご教室 開催	97,900
2	センシティ土曜にほんご学級	日本語を母語としない子ども達への支援	97,900
3	日本語会話サークル小中台	外国人市民支援事業	85,700
4	みどり土曜にほんご学級	みどり土曜にほんご学級	97,900
5	花見川土曜にほんご教室	外国人市民に繋がる日本語支援	97,900
6	国際交流せいかつ日本語みはま会	国際交流せいかつ日本語みはま会 開催	97,900
7	千葉市 JSL 児童・生徒支援の会	外国につながる児童・生徒のための日本語学習支援事業	97,900
8	ちば夜間中学をつくる会	ちば自主夜間中学運営	97,900

9	千葉県英語通訳会 (CCES)	通訳ボランティア活動の為に 英語スキルアップ勉強会	24,000
合 計			795,000

カ ちば市国際ふれあいフェスティバル支援

外国人市民と日本人市民の交流の場を創出するとともに、参加団体相互の連携を図るために開催される「ちば市国際ふれあいフェスティバル」の事務局として支援を行った。

なお、令和5年春に完成した千葉県役所1階の市民ヴォイド及びまちかど広場を会場とし、国際理解の一環として様々な国の料理を知り楽しんでもらうため、キッチンカーを招き世界の料理コーナーを設置した。

内 容	開催日	場 所	参加団体	来場者数
ステージ発表、体験コーナー、パネル展示による活動紹介、バザー等	2月11日	市民ヴォイド まちかど広場	14団体	約1,100人

キ 日本語教室ネットワーク

市内の日本語教室27か所(中央区:4、花見川区:5、稲毛区:4、緑区:3、美浜区:10、若葉区:1)の情報をまとめ、日本語学習の機会を求める外国人市民に対し国際交流プラザ窓口で案内したほか、協会ホームページに掲載する等により情報提供を行った。また、日本語教室以外に国際交流等の活動を行っている団体についても、協会ホームページに情報を掲載して紹介する等により、各団体の活動活性化の支援を行った。

(4) 情報収集・提供及び調査

ア ホームページ運営

協会の活動内容や外国人市民の生活に必要な情報等について、インターネットを通じて幅広く発信した。Facebook 及びLINEを併用することで、情報の提供頻度・量の充実を図った。

内 容	時 期
協会事業、生活情報、イベント情報、災害情報等 (自動翻訳により100言語以上に対応)	通年

イ 協会情報誌発行

協会事業の案内及び報告、国際交流・理解等に関する知識及び意識の向上を図るため、市民向けに日本語情報誌「ふれあい」を発行した。

内 容	発 行	部 数	配布先等
「ふれあい」発行 108～110号	8月、12月、3月 (年3回発行)	各3,000部	賛助会員、市内公共施設、 ホームページへの掲載等

ウ 千葉市の生活情報提供

外国人市民に対し、ちば市政だよりを始めとする有益な生活情報を、外国人のための「ちば市政だより」やさしい日本語版として毎月発行するとともに、協会ホームページの自動翻訳機能を活用して提供を実施した。

エ 情報ラウンジ

協会の多文化共生推進活動やボランティア活動などについての情報提供、市民間の情報交換用ボードを設置するなど外国人市民と日本人市民の交流の場を提供した。

内 容	時 期	場 所
国際交流・国際協力などに関する関係図書等の配置 ふれあいボード(市民間情報交換用掲示板)	通年	国際交流プラザ

2 受託事業

(1) 千葉県から委託を受けた事業の実施

ア 国際交流プラザ運営業務

国際交流や外国人市民に対する相談、情報の提供などの場である「千葉市国際交流プラザ」の運営業務を実施した。

施設利用状況（開館日数 293日）

	会議室	国際交流ラウンジ					合計
		日本語交流活動	外国人相談	多目的スペース	窓口対応	小計	
件数	1,469	835	1,736	5,753	1,460	9,784	11,253
人数	13,711	1,670	1,559	5,753	1,460	10,442	24,153

イ 地域日本語教育推進事業

(ア) 千葉市地域日本語教育推進会議

開催日	議題及び検討内容
8月1日	令和5年度事業経過報告・課題検討 令和5年度事業及び令和5年度以降事業の方向性検討
2月15日	令和5年度事業報告 令和6年度事業計画説明
推進委員 (順不同)	千葉大学 新倉涼子 神田外語大学 徳永あかね 双葉外語学校 小川早苗 千葉モードビジネス専門学校 宮下雅美 千葉商工会議所 企画経営部経営支援課 高山洋平 ほっとスペース稲毛ペコリーノ 前原寛和 株式会社協同工芸社 箕輪晃 ベイタウン日本語教室 堀康二 美浜こどもにほんご教室 小林稔子 千葉市教育委員会事務局 生涯学習部生涯学習振興課 内海豊 公益財団法人千葉市教育振興財団 公民館管理室 中村文香 生活者 三浦テュイ 生活者 チンシャンチュイ 千葉市 総務局市長公室国際交流課 平田美智子 千葉市教育委員会 学校教育部教育指導課 八斗孝之

(イ) コーディネーターの配置

職名	業務内容	氏名
総括コーディネーター	事業全体の企画・運営・連絡調整、大学・企業・NPO・日本語教室の活動状況把握やネットワーク促進	萬浪絵理 鈴木恵美子
地域日本語教育 コーディネーター	日本語クラスや研修の企画・運営・コーディネート	田中久美 中村香理

- | | | |
|---------------------|---------------|----|
| (ウ) 1対1日本語活動 | (2) 外国人市民支援事業 | 再掲 |
| (エ) 各種日本語クラス | (2) 外国人市民支援事業 | 再掲 |
| (オ) オンライン学習プログラム作成 | (2) 外国人市民支援事業 | 再掲 |
| (カ) やさしい日本語研修 | (2) 外国人市民支援事業 | 再掲 |
| (キ) 地域日本語教室への運営支援 | (2) 外国人市民支援事業 | 再掲 |
| (ク) 多文化ウェルカム団体紹介 | (2) 外国人市民支援事業 | 再掲 |
| (ケ) 企業支援 | (2) 外国人市民支援事業 | 再掲 |
| (コ) 情報交換会・意見交換会の実施 | (2) 外国人市民支援事業 | 再掲 |
| (サ) 日本語学習アドバイジング | (2) 外国人市民支援事業 | 再掲 |
| (シ) 日本語教育啓発のための動画作成 | (2) 外国人市民支援事業 | 再掲 |
| (ス) ボランティア研修 | (3) 市民活動支援事業 | 再掲 |

ウ ウクライナ避難民への日本語学習支援事業

戦火を逃れてウクライナからの千葉市に避難してきたウクライナ避難民への支援として、日常生活に必要な日本語習得を支援するために、日本語学校等の受講料の支援を行った。

	学校・教室名	人数	支援額
1	双葉外語学校	9人	2,271,000
2	都賀日本語教室	2人	308,050
3	ayc にほんご教室	4人	1,300,000
合 計		15	3,879,050

エ LINEを活用した外国人相談等業務（新規）

外国人市民の通信手段が電話等からSNSに移行していることをふまえ、外国人市民からの各種相談対応や生活に必要な情報提供を行うため、コミュニケーションアプリ「LINE」による相談体制を新たに構築し、令和5年9月に開始した。

件数 49件（令和5年9月～令和6年3月）

第3 賛助会員(令和6年3月末現在)

区 分	合 計
個 人	202 人
法人・団体	63 団体